



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



大沢さん 青木さん 塚本さん 塚本さん 上村さん

参加者は約19名。BBBは（おでん？）鍋を突つつきながら一升瓶を空けた。「上村、元氣だせえ。後藤、難しい顔すんナア。」とダメ出し。青森の甲屋さんは「安否確認ができた。岩手の佐藤幸子さんは「いまは難しいけど、みんなが集まって歌いたいなあ、という気分になりました」との感想でした。（佐藤）

10月30日、第3回RMM（リモート・ミュージック・ミーティング）を開催しました。スピーカーは、長野県支部の「ローカル線」の皆さんでした。インターネット環境が不安定で、途切れ途切れの映像もありましたが、第一部で4曲、休憩を挟んで第二部で7曲、MCを入れながら精一

杯演奏していただきました。10年前、12年前、20年前に何があったのかなどを紐解きながら選曲されていきました。「二人暮らし」という歌では、子どもが大学に入學して別居となり、夫婦二人だけの生活が描かれていました。また、久しぶりに拝見した大沢（親分）さんは、「孫の面倒、楽しいですよ」と言われるが、孫育て・大変だよ・楽しくはない。でも可愛い。よく人に迷惑をかけるなど言うが、人に迷惑をかけながら（協力してもらって）生きていきましょと「うつくしく生きていきましょ」を歌いました。

第3回RMMを開催しました 僕たちの中も大きな変化がありました

平和といのちと人権を！11.3大行動

—憲法公布75年、新しい時代を切り拓こう！—

- 日時 11月3日（水・休）14時～15時
（日音協は13時30分集合、15時30分ごろまで）
- 場所 国会議事堂正門前
（日音協は憲政記念館前交差点国立国会図書館側角）
- 主催 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
- 日音協の取り組み
 - (1) 日音協はステージでの演奏は予定していません。
 - (2) 日音協は13時30分に憲政記念館前交差点の国立国会図書館側角に集合して、出迎え演奏を行います。日音協ののぼり旗を目印にします。
 - (3) 集会終了時までに財務省上交差点に移動して、ここで送り出し演奏をします。当日の現地の状況によっては急遽変更することもあるかも知れません。
 - (4) 演奏する曲目は『決意』（日本国憲法、市野宗彦）、『私は忘れない』（杉五郎、市野宗彦）、『ふるさと沖縄』（加本和美）、『あたりまえの地球』（窪田聡）、『双葉の秋』（瓦井孔二）、『フクシマをくり返すな』（狭谷啓子）、『明日を殺すな』（杉五郎、市野宗彦）、『私たちの暮らしは私たちが決める』（杉五郎、市野宗彦）、『戦争に力貸さない』（杉五郎、市野宗彦）、などを考えています。
 - (5) 責任者：松本敏之（携帯 090 5796 4261）

■費用負担 たいへん恐縮ですが日音協は参加する方の交通費等を負担しません。

■主催者は、YouTube「Sogakari channel」で配信を行いますので、ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/channel/UCGEJUphfCJWtz92B7084opQ>

第58回日音協定期総会

1年間の日音協活動を総括し、向こう1年間の活動方針を討議・決定するために、日音協規約第14条第1項にもとづき、第58回日音協定期総会を開催いたします。

- 1 日時 2021年11月13日（土）13時15分から（終了目途17時15分）
- 2 会場等 基本的にインターネットを活用したりリモート参加による会議とします。インターネットのzoomミーティングを経由して参加いただきます。ミーティングのURL、ID、パスワードなどは、後日お示しします。なお、技術上の理由などによりとくに対面での出席を希望する代議員は、対面で出席することもあり得ることとしますので、日音協あて協議してください。
- 3 報告事項
 - (1) 2021年度一般経過報告
 - (2) 2021年度一般会計および音楽祭特別会計決算報告
 - (3) 2021年度会計監査報告
- 4 議題
 - (1) 2022年度活動方針について
 - (2) 2022年度一般会計および音楽祭特別会計予算について
 - (3) その他
- 5 代議員（日音協規約による）
 - (1) 東京都支部 2人
 - (2) 北海道支部、青森県支部、秋田県支部、岩手県支部、福島県支部、茨城県支部、千葉県支部、新潟県支部、長野県支部、富山県支部、香川県支部、九州支部、沖縄県支部 各1人
- 6 費用（参加費用については省略）
- 7 その他（省略）

日音協第58回定期総会 (2022年度活動方針案)

1 はじめに

2021年度も新型コロナウイルス感染症が全国で猛威を振るい、収束の兆しは未だ見だせていません。政府の感染症対策はこの間、個人の自粛ばかりに依存するもので、結果として憲法の保証する表現の自由が大きく制約されている問題があります。そうした中、2年連続ではたらくものの音楽祭が開催できない(2020年千葉、2021年沖縄)など、演奏活動や大きな集会などは大きく制約されました。だからこそ創作活動に力を入れようと呼びかけました。さまざまな制約のある中で逆に、インターネットを活用した演奏活動の交流の模索はすすみました。

日音協は、支部を日常活動の集約の場として、労働組合の集会をはじめ様々な場に出かけ、また、多くの音楽現場を作り出していきます。そして、生活のうた、職場のうた、平和のうたをつくり、うたい、ひろめ、つなぎあうことを柱に、はたらくものの立場にたった音楽運動＝みずからを表現する運動を、職場・地域の中に広げていきます。私たちは、労働組合との連携を強めるとともに、労働組合に加入していないはたらく人々とも手を携えます。はたらくものの音楽祭と機関紙『音楽運動』を中心に全国的なつながりを大事に活動していきます。

一方、若い人に日音協運動に参加していただくという点では、各地で努力もありますが、引き続き重要な課題です。行動の中で生まれた新しいつながりを、さらに2022年度の活動を通じて発展させていきたいと思います。

2 はたらくものの音楽祭

第53回ははたらくものの音楽祭を、2022年9月3日、4日に茨城県水戸市で開催します。

日音協各支部代表で中央実行委員会を構成して、労働組合等の協賛を得て主催するとともに、連合茨城をはじめ茨城県内の協力して下さる労働組合(支部)と日音協茨城県支部で構成する第53回はたらくものの音楽祭茨城県実行委員会が実行態勢を大きく支えることとします。

2年間ははたらくものの音楽祭が中止となり、会場キャンセル料の支出で特別会計の繰越額が減少していることから、一般会計からの繰り出しをします。

3 ブロック合宿

ブロック合宿は、会員と支部を基盤とする組織になった日音協が、新しい会員を迎える重要な機会であり、会員一人ひとりが、会員になってもらいたい人・会員になってもいいなと思っている人を誘って参加することをめざします。2年連続で北海道ブロック合宿以外の開催は見送りましたが、東北北ブロック、関東ブロック、北信越ブロック、沖縄県も合宿を開催します。福島県支部合宿、香川県支部合宿のそれぞれ東北南ブロック合宿、四国ブロック合宿への拡大をめざすとともに、中国、九州などで開催に努力します。引き続き次により日音協中央財政から支援をすることとします。

- (1) 日音協のいくつかの支部が合同で、または一つの支部が主催するもので、合宿形式をとること
- (2) 外部講師、日音協中央を除いて5人以上の参加が見込まれるものであること
- (3) あらかじめ日音協中央に日程、会場を通知したものであること
- (4) 一年度一つの支部につきこれらの要件を満たす合宿が複数あるときは、そのうち参加者の多いものを優先して扱います
- (5) 金額は、一年度一つの日音協ブロック合宿につき、参加者(外部講師、日音協中央を除く)が5人の場合を10,000円とし、参加者が1人増えるごとに1,000円を増額します。ただし上限を40,000円とします。

4 日音協セミナー2022と若い会員の交流会、リモート・

ミュージック・ミーティング

日音協セミナー2022を創作コースとして開催します。

同じ会場、同じ日程で、若い会員の交流会を開催します。音楽を基本にした交流会で、若い会員に「日音協に入ってよかった」と思ってもらえる取り組みとして、新たな会員を迎えることをめざします。若い会員の中でも40歳以下の会員は往復交通費を日音協が負担します。まだ日音協会員になっていない若い人も歓迎します。

リモート・ミュージック・ミーティングを引き続き開催することとして、とくに感染症拡大が収まらないときは、日音協セミナーと若い会員の交流会に代わるものと位置づけます。

5 連合、平和フォーラムなどの行動参加

引き続き、連合中央メーデー、各県メーデーの集会、労働組合の大会・集会や行動などに積極的に参加、うたい演奏します。連合中央メーデーでの演奏を日音協の顔としての合唱・演奏と位置づけて、ていねいな合唱練習をして準備します。

平和フォーラムの構成組織として、平和フォーラムやその地域組織の行動に参加します。

さようなら原発1000万人アクション、戦争をさせない1000人委員会や5.3憲法集会をはじめとした総がかり行動など、地域の反戦・平和・脱原発・労働者の権利擁護のための行動に参加し、うたい演奏します。

6 沖縄に連帯する行動

沖縄では、第二次世界大戦で唯一地上戦が戦われ、アメリカの軍政のもとで土地を奪われ、米軍基地を造られ、復帰50年になろうとする今なお米軍専用施設の70%が集中しています。沖縄の被害、差別の実態をまなび連帯するために、365日座り込みを続けている辺野古ゲート前のたたかいへの参加を全国に呼びかけます。

とりわけ、2022年の5.15沖縄平和行進・県民大会に、日音協として参加します。日音協沖縄県支部と沖縄平和運動センターとの関係を密にして、これを全国の日音協が中央の平和フォーラムと協力しつつ支えることにします。

7 県支部・サークルがつくる音楽現場

歌っていいんでないかいコンサート(北海道)、はたらくものの音楽祭 in秋田、はたらくものの音楽祭 in岩手、都支部コンサートのように、県支部やサークルが積極的に音楽現場をつくりまします。また、毎週金曜日の官邸前反原発行動(反原発うたいたい)のように、街頭で訴える音楽現場も工夫します。

8 日音協ソングの募集など

日音協のみずからを表現する運動の重要な柱である創作を推進するために、日音協ソング2022を募集します。各支部の意見をきいたうえで会長が指名する人と日音協幹事会メンバーあわせて8人で選考委員会を構成し、応募曲の中から全国に広めたいうたを選考し、歌集、ホームページ、音楽祭などで広めます。

日音協と共通の理念をもって歌を創っている音楽家にインタビューして「歌を創るということ」としてインターネットで共有します。

9 インターネットによる動画の配信等

日音協のインターネット音楽会2022を開催し、会員やサークルの演奏する動画や音源を配信します。また、日音協ソング2022とリンクしてインターネット新しいうたの会を開催します。ホームページを充実するとともに、メーリングリストやSNSのような相互の情報共有を工夫します。

CDや新しい歌集等を制作します。支部のCD等の制作を支援します。

(3面につづく)

イットクフェス2021

(2面よりつづく)

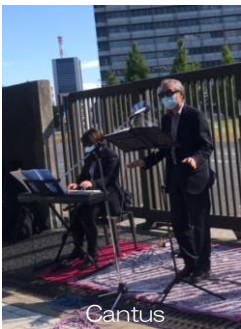
選挙に言っとくけど、俺の自由はヤツラにやらねえ！ロック・フェスティバル、略してイットクフェス2021が、10月24日(日)、国会議事堂周りで開催されました。

イットクフェスは表現の自由を掲げて今年で5回目になるはずでしたが、衆議院解散、総選挙により、直前になって投票促進を掲げることになりました。弾き語りステージ4、バンドステージ3、オープンマイク&スペシャルステージ、憲法しゃべり場、そして日音協と歌の仲間たち主催のうたう葉萼坂ステージの10ステージで構成されます。

うたう葉萼坂ステージでは、「反原発歌いたい」「未来のための合唱」「cantus」「ダーハマ」「おだかすや」「Piggies」「THE STAND UP」「VJkin」「四畳半プリン」「チバ大三」「Rico & Tatsu」「逢坂Rie」「いなのとひら・のとこば」がうたい演奏し、またひとり芝居を演じました。(松本敏之)



反原発歌いたい



cantus



ダーハマ



おだかすや



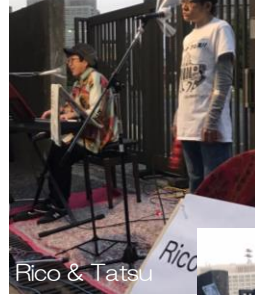
THE STAND UP



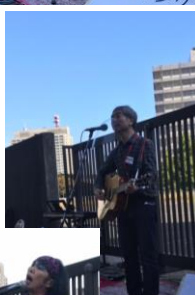
四畳半プリン



逢坂Rie



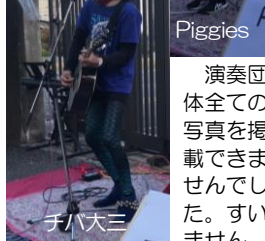
Rico & Tatsu



Piggies



いなのとひら・のとこば



チバ大三

演奏団体全ての写真を掲載できませんでした。すいません。

10 組織活動

日音協は、個人である会員とその日常活動の集約の場である支部を基盤とする組織です。北海道支部、青森県支部、岩手県支部、秋田県支部、福島県支部、茨城県支部、千葉県支部、東京都支部、新潟県支部、長野県支部、富山県支部、香川県支部、九州支部、沖縄県支部の14支部と支部に所属しない会員とで構成されています。この1年間、会員数は2020年11月(212人)から入会●、退会●で●人●の●●●人(2021年11月1日現在)となります。

労働組合は、自治労、日教組、林野労組、東武交通労組と公務労協が賛助団体として支えてきています。はたらくものの音楽祭は、開催実行委員会をつうじてさらに多くの団体が支えてきています。

地域支部と労組が日音協活動の基盤であるという認識から、日音協地域支部の新たな結成をはかります。同時に、労働組合との関係を強化するとともに、労働組合全国組織ごとに労組内の音楽活動家を組織する労組音楽協議会(音楽集団)との連携を強化します。

若い仲間をはじめとして会員の拡大に全体で集中して取り組みます。行動の中でおおぜいの参加者に演奏を聴いていただき、また地域でコンサートを開いて、一緒にうたう仲間を広げます。音楽祭やブロック合宿に、新しい仲間積極的に参加を呼びかけます。それと同時に、日音協は「音楽運動に定年はない」と言ってきましたが、改めてそのことが現実になるような活動をすすめましょう。

日音協会員は規約では支部会員と個人会員としていますが、これから新たに日音協に入会していただく方は、地域に地域支部がある場合は原則として地域支部に属することとし、また地域支部に属することが難しい場合には、幹事会の議論を経て個人会員とします。現在の個人会員も、地域に地域支部がある場合は、会員本人の理解と納得のもとに、順次地域支部に属していただくこととします。

日音協は、総会—全国代表者会議—幹事会という機関で、各支部の活動を集約し、全国的な活動を進めていきます。2022年度の幹事会はインターネットの活用(zoomミーティング)も含めて毎月開催します。2022年度の全国代表者会議は7月に開催し、第59回定期総会は11月に開催します。

11 機関紙活動

メールマガジンとして、機関紙『音楽運動』のA4版6ページ、月1回配信を継続します。印刷・郵送による発行も継続しますが、インターネット配信への切り替えを引き続きお願いしていきます。機関紙購読料は、取材・編集費用として引続き年2,400円(月200円)とし、日音協会員は会費に含まれることとします。全国の動きを知らせるためにも写真を多用し、楽譜も多く掲載していきます。発行にあたっては、全支部、全会員が、編集部へ情報を送るとともに、編集部は年間の企画を立てて各支部・会員に原稿を要請し、支部も依頼された原稿の締切を守って、発行態勢を支えていくこととします。各支部事務局は会員・読者に届いているか、年1回は点検することとします。

12 財政活動

日音協は2009年の組織改変以後も、賛助団体が減少し、会員も減少傾向が続いています。会員を増やす活動に力を入れていますが、成果があがらなければ財政規模の縮小は避けられません。

2021年度は感染症対策のために支出が大きく減った一方、事業収入なども大きく減っています。この間、事務局経費の節減をはかってきましたが、2022年度も堅実な執行につとめるとともに、新しい会員を迎えるために、各ブロック合宿や若い会員の交流会にはしっかり財源を配分します。また、一般会計から音楽祭特別会計に15万円を繰り出します。

●南京の老女の祈り

豊巻直子

おとうさんは(殺された)
連れていかれて(殺された)
兵士でもないのに(殺された)
連れていかれて(殺された)
日本の軍隊に(殺された)
日本の軍隊に
赤ん坊の弟は(殺された)
おかあさんから引き離されて
(殺された)
地面にたたきつけられ(殺された)
私の目の前で(殺された)
日本の軍隊に(殺された)
日本の軍隊に
市民の亡骸で(殺された)
埋め尽くされていた(殺された)
難民キャンプの(殺された)
目の前の池が(殺された)
日本の軍隊に(殺された)
日本の軍隊に

1937 南京 南京大虐殺
どうしてあの時 日本の軍隊に
たくさんの市民が殺戮されたのか
私にはわからない
どうぞ皆さん 日本に戻ったら
ともだちにこの話を伝えてください
そしてみなさんにお願ひがあります
日本の平和を守ってください
日本の平和を守ることができたら
必ず世界の平和を守ることができます

●10年前のこと

松本敏之

10年前のこと 僕は道を急いでた
10年前のこと 僕は道を急いでた
親父が 亡くなって お葬式の準備で
家と 親父の家と 行ったり来たりしてた
朝もまだ早かった 道はまだ空いていた
10年前のこと 僕は道を急いでた
前を走る車は のろのろ
道を急ぐ僕は いらいら
道は狭くて ぐねぐね
センターラインは 黄色
交差点が近づくと プレーランプが光る
でも曲がるわけでもなく のろのろ走り続ける
イライラしてる僕も 黙って ついていった
10年前のこと 僕は道を急いでた
親父が死んだのは 事故でも何でもなくて
長患いの末に 老衰みたいなもんだ
親父が病気なのに 僕は看護もせず
たまに見舞いに行くだけって
ちょっと後悔もした
10年前のこと 僕は道を急いでた
10年前のこと 僕は道を急いでた
15分も経ったか 前の車が突然
突然ハザードつけ そうして路肩に寄った
いらいらしてた僕は すぐに追い越そうとして
追い越そうとして そのとき初めて気づいた
福島ナンバー 福島ナンバー
何もない路肩に 停まろうとしていた
福島ナンバーが こんな茨城の田舎道で
こんな田舎で 道に迷っていたんだ
知らない田舎道で 道に迷っていたんだ
茨城の道なんて 走ることもなかったろう
ここまで逃げてきたんだ 福島ナンバー
心細かったろう 福島ナンバー
10年前のこと 僕は道を急いでた
10年前のこと 僕は道を急いでた

●ゴールをめざして

北山清喜

まだ見ぬ明日 つかむために
立ち上がり 今ゴールをめざして
自分のため 道を刻もう
その一歩づつが ゴールにつながる

靴ひもを固く 結びなおして
なんどでも また進みつづけよう
人も見る目は 気にするなよ
行くべき場所が そこにあるなら
荒野の果て 見えないけど
切り開く時 今こそ

今日という日は 二度とは来ない
今出来ること 精一杯に
振り返っても 何も見えない
過ぎ去った日々に 別れを告げて

苦しいことも あるけれど
微笑みをいつも 忘れないで
人の言葉は あてにするなよ
語るべきもの きっと見つけるまで
この空の果て 見えないけど
切り開く時 今こそ

●トリプルエース

磯野宏之

アベのみクスッと
笑っていますよ
アッソウだね
アマリに上出来すぎたね
モリカケもサクラも ひとまず安心
キシダもこれで 操り人形
トリプルエースさ
アベアソウアマリ
トリプルエースさ さん悪トリオ

アベのみクスッと
笑っていますよ
アッソウだね
アマリに上出来すぎたね
原発なくすと言ったり
年金変えるとか
どうのコウノ言うやつは
落としてしまえ
トリプルエースさ 闇の仕掛人
トリプルエースさ さん悪トリオ

アベのみクスッと
笑っていますよ
アッソウだね
アマリに上出来すぎたね
派閥の風を 我が物にして
風向き変われば 病気になるだけ
トリプルエースさ 都合のいいヤツ
トリプルエースさ さん悪トリオ

アベノミクスは 終わりにしよう
アッソウだね アマリにひどすぎた
そろそろヤツらに 怒りのワクチン
ニカイでも何回も 打ってやろうぜ
トリプルエースさ
アベアソウアマリ
トリプルエースさ さん悪トリオ
そろそろいいだろう
終わりにしようぜ

日音協ソング2021応募曲(8曲)

●歌は奏でられる、
歌は伝えられる

沼前光典

歌は喜び 歌は怒り
歌は哀しみ 歌は楽しみ
歌は苦しみ 歌は涙
歌は心 奏でられる
私の歌で
あなたの心が晴れるなら
あなたが幸せな
気持ちになれるなら
いつでも歌うよ 歌うよ
いつまでも

歌は言葉 歌は叫び
歌は魂 歌は命
歌は未来 歌は平和
歌は平等 伝えられる
大空の下で
広い世界中のみんなが
手をとりあって
仲良くなれるなら
歌いつなごう 広めよう
この歌を
歌いつなごう 広めよう
この歌を

●ひとりの声が

桑野功

川が流れて
行くように
季節がめぐって
行くように
人は歩きながら
いつでも明日を
見つめている
ひとり一人の
小さな声が
やがて大きな
うねりとなって
今の時代を
変える力に
力に なるでしょう

道はどこまでも
続いている
風は強く吹いている
人はさまよひながら
いつでも
何かを求めている
ひとり一人の
その思いが
やがてみんなと
つながりあって
心の中に
希望の花を
花を
咲かせるでしょう

●五つの輪の灯
(ともしび)

宮脇昌典

何のためにやるのか
誰のためにやるのか
誰もわからないまま
灯が村を駆ける

何のためにやるのか
誰のためにやるのか
誰も知らされないまま
灯が街を駆ける

裏腹の おもてなし
被災地を 盾にして
灯が国を駆ける

何のために競うのか
誰のために競うのか
力ネに歪められながら
灯が村を駆ける

何のために競うのか
誰のために競うのか
欲に歪められながら
灯が街を駆ける

人の心 縛る絆
怒りの声 耳を塞ぎ
灯が国を駆ける

何のために挑むのか
誰のために挑むのか
綺麗事に騙されて
灯が村を駆ける

何のために挑むのか
誰のために挑むのか
嘘に嘘を積み上げて
灯が街を駆ける

忍び寄る 流行り病
斃れた命 見向きもせず
灯が国を駆ける

何のためにやったのか
誰のためにやったのか
騒ぐだけ騒いで
灯が村を駆けた

何のためにやったのか
誰のためにやったのか
「ええじゃないか」
と騒いで
灯が街を駆けた

怒りの心 嘆きの涙
何もかも 奪い取って
灯が国を去った

灯が消えたら
この暮らしも
消えるのだろうか

印牧真一郎メモリアルコンサート 飛ぶ櫓～アイヌ民族のために～を歌う



(姫田蘭氏撮影動画よりスクリーンショット)

印牧真一郎メモリアルコンサート、小熊秀雄生誕120年、「飛ぶ櫓～アイヌ民族のために～を歌う」が、10月19日、東京都三鷹市の三鷹芸術文化センター風のホールで開催され、日音協の仲間たちを含めて300人を超える方々が集まりました。企画・制作は歌のあつまり風、企画協力は竹田恵子(元こんにゃく座代表)。作曲・ピアノ：港大尋、構成・演出：杉浦久幸、指揮者・サクソフォン：笠村勇樹、編曲・フルート：伊藤寛武、コントラバス：プレント・ナッシー、打楽器：クリストファー・ハーディ、ピアノ：平野義子、語り：門岡瞳・鈴木あゆみ。合唱は歌のあつまり風と、このコンサートのために集まった歌手たち(「池袋モンパルナス合唱団」と称することになりました)。

1972年10月から1993年3月まで日音協事務局長をつとめた印牧真一郎さんは、戦前のプロレタリア詩人小熊秀雄に強く惹かれ、1950年代に指揮者をつとめていた合唱団「フェーグラインコール」のために『蹄鉄屋の歌』『ゴールドラッシュ』などの詩を合唱曲に、と林光に作曲を委嘱し、初演をつとめてきました。その印牧さんが生前、強い意欲を燃やしていたのが長編叙事詩『飛ぶ櫓～アイヌ民族のために～』でした。しかし、これを果たせないまま、2017年4月に亡くなったことはみなさまご存知のとおりです。

同年12月に日音協と歌のあつまり風、そして往年のひろば合唱団の方々とで「印牧真一郎さんを偲ぶ歌の会」を開催しました。終わった後の席で、竹田恵子さんが「印牧さんのやり残した仕事、『飛ぶ櫓』を合唱劇として実現しよう」と話したことが、今回のコンサートの発端となりました。日音協セミナーで講師をお引き受けいただいた港大尋さんに作曲を、劇団もっさりやの杉浦久幸さんに台本を委嘱しましたが、パンデミックの影響もあり、やっと上演にこぎつけました。

この間、日音協秋田県支部の仲間たち、富山県支部の仲間たちとエーヴィヒ・コールのみなさんにも一緒に演奏するご相談が進みましたが、感染症のために断念せざるを得ませんでした。

コンサートは、第1部「ゴールドラッシュ」、組曲「アイヌの歌」、「蹄鉄屋の歌」、第2部「飛ぶ櫓～アイヌ民族のために～」という構成。日音協会員としては松本敏之がバスの一員として舞台に立ちましたが、坂口美日さんが直前になって舞台に立てないことになったことが残念です。指揮者の若い笠村勇樹さん、作曲兼ピアノ兼パーカッションの港大尋さん、企画協力の竹田恵子さん、歌のあつまり風の印牧善雄さん、海老沢恵子さん、海老沢信一さん、宮口高枝さん、田中耕作さん、ほか、漏れた人にはごめんなさいですが日音協にかわりをいただいた多くの方が、舞台をともしました。

近いうちにみなさまに動画を提供できたらいいなと思います。

竹田恵子さんがご自身のホームページに書かれたものと、エーヴィヒコールの宮元勝彦さんのご感想もご紹介します。

(松本敏之)

■歌のあつまり「風」の企画制作「印牧真一郎メモリアルコンサート 飛ぶ櫓を歌う～アイヌ民族のために～」を昨日(10月19日)無事終えることができました。ありがとうございました。特に本番前の三日間は、怒涛の日々でした。多くのお客さまにご来場いただき、ピアノの他に、サクソフォン、フルート、コントラバス、打楽器も入り、合唱のコンサートであり見たことのない、豊かな音楽による印牧さんへの追悼になったと思います。いま、この時代だからこそ、小熊秀雄が指し示す強さと激しさの底の底にある明るさには、とても大きな意味があると思っています。

企画協力者として最後に舞台上げられ挨拶させられたので、念願だった印牧さんの思いをかなえられた喜びとともに、次のようなことを話しました。

印牧さんの笑顔にはいつもどこか恥じらいがあり、その笑顔がとても好きだったこと。「音楽」にはとても大きな力があるということ。新作初演「飛ぶ櫓」の行く先がとても明るい音楽で彩られたので、私自身が救われる思いがしたこと。「文化」にはいくつもの層があり、「音楽」が「飛ぶ櫓」となって別の層に飛び、そこから「いま」をながめてみると、いまある空気の愚かしさに気付いたりしてしまうこと。

課題がいくつもあるとはいえ、とてもいいコンサートだったと思います。

私が仕事でいつも協力してもらっているピアニストの平野義子さんはこの日のピアニストとして。そして武石玲子さん、湯田亜希さん、井口真由子さんには、何と表方の受付を手伝っていただきました。

ほんとうにありがとうございました！

10/20 竹田恵子さん(HPより)

■「メモリアルコンサート」お疲れ様でした。そして開催の大成功おめでとうございました。

コンサート全体と会場に「ネマキさん」が漂っていらっしゃいました。

懐かしさも含めてのⅠ部と、緊張と飛翔が相混じるⅡ部に、時間の経過を全く感じないままにエンディングを迎えていました。

若き指揮者と温かさに包まれたメンバーの皆さんのやりとりに、「小熊秀雄」と「印牧真一郎」が確かにホール中に漂っていらっしゃったのですヨ。

それにしても、ネマキさんはおモチになっていたのですねー。コンサートの休憩時間等に、妙齢のご婦人方(若干名の紳士達も)の「印牧さん」「印牧さん」の声ばかりでした。

「歌のあつまり風」は唯一無二の集まりでいらっしゃることを、あらためて感じたコンサートでした。

「風」の皆さんが若き指揮者と共に、周りの人々に「風」の世界を、これからも見・聴き・感じさせてくださることを切望しております。

本当にありがとうございました。

富山 EwigChor (エーヴィッヒ・コール) 宮元勝彦さん

●私たちはうたう

笠木博逸

私たちはうたう 私たちはうたう
私たちはいつの日も うたい続ける
悲しくて 悔しくて 泣きたい時も
かすかに聞こえる 友のうたごえが
いつも力をあたえてくれる
いつも力をあたえてくれる

私たちは叫ぶ 私たちは叫ぶ
私たちはこの思い 叫び続ける
空しくて 苦しくて 逃げたい時も
やさしく聞こえる 友の励まし
いつも笑顔をあたえてくれる
いつも笑顔をあたえてくれる

私たちは歩く 私たちは歩く
私たちはどこまでも 歩き続ける
辛くなって 行き詰まって 疲れた時も
たしかに聞こえる 友の足音が
いつも勇気をあたえてくれる
いつも勇気をあたえてくれる

いつも勇気をあたえてくれる
(4面からつづく)

歌の力が物語るもの100

菜葉坂つた行動 10/8 (4288回) 報告 Ricco

【参加者】モリヤさん イサさん 達哉 モッチー 森 計5名

2ヶ月ぶりの菜葉坂。国会議事堂前駅から地上に出ると、妙法寺さんの歌うような南無妙法蓮華経が聞こえる。懐かしい。

いつもの場所に向かう途中、経産省前から移動してくる人たちとすれ違つ。経産省前テント行動はコロナ禍でもずっと続いている。すごいな。

そちらに参加していたモリヤさんとイサさんも、「あとで合流するね」と一日官邸前に向かつていった。

旗を立て、歌い始めた。達哉はギターを背負ってきたのに、

こっそり持ってきたおやつを手にも、うろろろ探索するばかり。いつものことだ、ひとりて歌い始める。まずは『あたりまえの地球』から。

残暑厳しいが秋。揺れる稲穂を故郷の光景と描く、瓦井さんの『双葉の秋』を歌いたくなる。

切なくなつて歌っていると、口ずさみながらモリヤさんとイサさんが官邸前から戻ってきた。続ける『風車の唄』は声が重なつて嬉しい。「何歌う?」と尋ねると『大きな橋』がい

いな。大好き。との答え。これは達哉が歌いたがつてモリヤさんが知つた曲。彼女のギターがはいると、達哉もようやく楽器を抱える。「キーは何?」

と必ず聞くけど、コードを押さえないから常に開放弦。雰囲気だけは作る。

『あなたに届け』、『メッセージ』、『子ともらの明日のために』、『明日を殺すな』、『私たちの暮らしは私たちが決める』。久しぶりなので指がコードボタンを外れたり、調を間違えたり、歌詞が出てこなかったり。哀えの速さを感じるな。

昨夜の地震はびっくりした。都心で震度5は10年ぶりという。あの東日本大震災以来だ。都心での地震は大きく報道されるが、日本中どこでも大きな地震は起こり続けている。それなのにまだ原発を動かすつもりか。老朽化を、いくつもの不具合を承知しながら基準を変えてまで。

『水に流すな』、『声よあつまれ』、『歌となれ』をモリヤさんのリードで歌つた。

『声よ...』はYouTubeで見ると、歌い手によって歌詞付けやリズムがちよつとずつ違ふねという話になった。みんなて歌うためには、まずは正調で覚えなければ。朝鮮学校の生徒さんたちの動画が基本形だそう。差別に抗する歌だ、ちゃんと覚えよう。

最後は『沖縄今こそ立ち上がる』。オール沖縄から各地でけられた。毎月第一土曜日に青いものを身につけて抗議の意を示す。初回の今月、モッチーとコミネッチとイサさんが新宿でのアクションに参加している。

感染症が本当に終息に向かつているのかわからないけれど、菜葉坂は再開したよ。みんなおいで〜!

水道橋だより

▼今月号の編集にはかなり無理があり、読者の皆さんには読みづらかったかと思ひます(主に9ポイント、なかには8ポイントの記事もあり)。ご容赦願ひます。▼さて今(10/31)は、13時からの「2021日音協ソング」選考委員会(幹事会 ZOOMにより歌つてみる)を終え、音楽運動の仕上げ作業中です。(選考結果は後日。)

▼第49回衆議院選挙の投票結果はまだでていませんが、政権交代が実現しているよう期待します。▼コロナの収束も期待し、また会つて歌い飲みたいものです。(佐藤)

▼10月28日に福島県支部総会が開かれた。合わせて11月のネット音楽祭WEB配信の録画撮影も行われた。会員(この日は6名参加)が対面で会うのは1年8ヶ月ぶり。この間メールや電話で連絡をとりあつてたものの、やはり直接顔を合わせて話ができることに嬉しくなつた。出てくる話は最近の身体の具合とか飲み薬や病院の話など、いつもの話に落ち着いた。ネット音楽祭用の録画も無事撮り終え、後は編集作業に移行することができた。



どん行

(148) 飯島貞親

▼「副総裁の発言」とかけて「月面でのジャンプ」とく。そのコロナは「軽いものでした」。▼またもや麻生氏が問題発言。10月25日、道内で街頭演説し、道産米について「昔、北海道のこメは『厄介道(やっかいどう)米』と言つほどだったが、今はうまいこメを作るようになった。農家のおかげか」と違ふ。温度が上がつたからだ。温暖化という悪いことばかり取り上げられるが、いいこともある」などと発言。▼これに対し、道農民連盟は、「全道挙げて品種改良を重ね、『北海道ブランド米』としての地位を確立した結果であり、生産者の努力と技術をないがしろにするような発言は許されない」と抗議。また、温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロとする政府の目標に触れ、「地球温暖化を肯定するような言葉を発することは、自民党副総裁の発言としてあるまじき由々しき事態」と批判。そのうえで「温暖化防止対策に懸命に取り組んでいる企業や国民にとつても耳を疑うような発言だ」と指摘した。▼筆者が子どもの頃、生意気なことを言つと「この口が言つてるんだ」とほつぺたをいやというほどつねられたものだ。麻生氏がしゃべると口がゆがむのはそういう経験がないからではないだろう